



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。

シルバー安曇野

第 68 号
 令和 6 年 1 月 1 日
 発行
 公益社団法人
 安曇野シルバー人材センター
 住所
 安曇野市豊科 4155-1
 TEL 0263-72-5800
 FAX 0263-73-6484



会員の独自事業による門松製作作業～今回も約 250 基製作しました

新年のご挨拶

理事長 田野 尻 正



令和6年、漸く新型コロナウイルス禍が収束し、ポストコロナ時代に移り、生活様式や価値観が変化し、難しい対応が求められています。ですが、会員の皆様方におかれましては、シルバー人材センターでの活動を通じ、健康を維持され、明るく楽しい一年にして頂きたいと思います。

本年も、センターが抱える課題解決に向け、引き続き積極的に取り組んでまいります。その一環として、昨年、女性会員の確保や子育て・福祉面の就業について、先進的な取り組みを行っていただける福井県の二カ所のセンターを視察してまいりました。まずこの視察研修で最も強く残った印象は、いずれのセンターも地域にとって不可欠な、極めて重要な役割を担っているということ、シルバー人材センターの存在の大きさ、重要性を改めて再認識したことです。なおいずれのセンターも女性比率（全会員に占める女性割合）は50%前後（安曇野は35%）ですが、その要因としては、昔から女性は外で活動する、という進取の気性があつたという面もあるようですが、女性会員が同好者を募り独自事業を提案、事務局が自立できるまで全力で支援するという方法で10人前後の女性グループが幾つも形成され、女性会員が徐々に拡大、就業の場も増えたとの事です。「会員のやる気と職員の情熱」が肝要という説明者の言葉に大きなヒントがあるように感じました。

80歳を超えても元気に活躍できる場の整備が求められている今、一つひとつ対策を講じ、とにかく実行に移す、うまくいかなければ次の対策を講じるくらいのフレキシブルで前向きな努力が必要と感じます。

さて、刻々と変化する環境に順応するため、会員間及び会員と事務局職員間のコミュニケーション・連携強化が増々重要であり、一人ひとりの「謙虚な姿勢と相手へのリスペクト」（WBCチェコ監督言）が必要と思います。

「微笑みと穏やかさ」も身に着けたいと何時も思いますが難しい、まだまだ努力が足りない。

「ほほえめば人間関係がうまくいき、仕事もなめらかになる」

新しく迎えた年を、メンタル面も転換させる、そんな年にしたい。

役員研修に参加して

理事 松田 清志

福井県大野市シルバー・あわら市シルバー2か所を視察

当センターの役員視察研修が、4年ぶりに行うことが出来、理事・監事13名、職員3名の計16名が10月26日～27日の二日間で福井県大野市シルバー人材センターと、あわら市シルバー人材センターを視察してまいりました。

研修目的は、農業（独自事業）、福祉介護事業、会員拡大、新規事業等への取り組みです。

大野市人口は3万1千人で、会員数646人、うち女性会員が54%と高い比率を占めています。年間事業収入3億2200万円で、独自事業が18.4%の590



大野市シルバーでの座学研修



大野市シルバーの直売所

0万円ありました。

大野市は、受託事業と独自事業に分け、独自事業班では、18事業に取り組んでいます。農産物の生産から六次産業の加工・販売を9事業行っており女性会員を中心に進め、多くの会員が就業しています。このような女性会員の活躍が認められ令和3年に内閣府より「女性チャレンジ支援賞」を受賞しています。

新規事業開設には知恵を出し合い出来るものがあれば取り組んでいきたいとのことでした。



あわら市シルバーの子ども一時預かりシルバーママサービス

あわら市の人口は2万7千人で、その内60歳以上の人口が1万1千人を占めます。高齢化率が41.8%で人口減と高齢化が進んでいる状況です。会員数は357人で、男性182人、女性175人です。独自事業の目玉として「子ども一時預かりシルバーママサービス」を市から委託事業として平成24年度に開設し、保護者が一時的に保育できない時に預かるサービスを提供し、保育士資格のある会員さんで行っています。今年度から坂井市からも受託しています。



あわら市シルバーでの座学研修

介護事業では、ホームヘルプサービスBを行っており、要支援1・2の方を対象に屋内清掃・買物・洗濯・ゴミ出し等を行い、需要が増加しているとのことでした。高齢者支援事業を今後も市と共同で進めていきたい意向です。

両センターとも特色ある活動を行って大変参考になる有意義な研修でした。

2つのシルバーとも懇切丁寧に説明を頂き、もう少し時間がほしいと感じました。

大変お世話になり

厚くお礼申し上げます。

**コロナ禍前(令和元年度)の実績に迫る！
契約額は前年度とほぼ同様の実績**

令和5年度 事業実績 (4月～10月)

4月から10月までの契約額の実績は、3億9580万円で、対前年度比0.2%増、金額で79万円の増加となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響も落ち着きを見せており、昨年度から持ち直し、コロナ禍前の令和元年度の水準とほぼ同様な状況となっています。

請負事業、派遣事業とも順調に推移し、請負事業は前年度比0.8%、金額で308万円減、派遣事業は前年度比12.8%増、金額で387万円の伸びとなっています。

会員数については、新聞広告等による新入会員説明会の積極的な周知を行いました。前年度に比べ16人減の876人となりました。

今後も、会員の皆様のご協力をいただきながら、会員拡大と就業機会の確保を図ってまいりますので、一層の支援をお願いします。

10月までの事業実績

区分	令和5年度 (10月末)	令和4年度 (10月末)	増減	対前年比	
会員数	876人	892人	△ 16人	98.2%	
請負 内訳	受注件数	3,205件	3,130件	75件	102.4%
	契約金額	36,158万円	36,466万円	△ 308万円	99.2%
	公共	6,656万円	6,300万円	356万円	105.7%
	民間事業所	21,547万円	22,144万円	△ 597万円	97.3%
	一般家庭	7,955万円	8,022万円	△ 67万円	99.2%
派遣請求額	3,422万円	3,035万円	387万円	112.8%	
合計(請負+派遣)	39,580万円	39,501万円	79万円	100.2%	

**高齢者活躍人材確保育成事業
横山タカ子先生の
「健康と食の講座」を開催！**

シルバ－会員の拡大と技術講習を目的に、長野県シルバ－人材センター連合会と連携して講座を開催しました。11月16日豊科ふれあいホールにおいて「健康と食の講座」を開催し、長野県が誇る料理研究家の横山タカ子先生を講師として30名が受講しました。

横山先生が提唱する「長寿ごはん」とは？、食べて健康になる一汁四菜の質的な食事など、私たちの学ぶべきヒントをたくさん与えていただき、参加者皆満足した様子でした。

センターでは、これらの講座を機会に会員となって就業いただけるよう取り組んでいきます。



「健康と食の講座」
講演する横山タカ子先生

ボランティア活動

各地域におきまして今年度もシルバ－人材センターの普及啓発促進月間に合わせて、ボランティア活動が実施されました。



中学校フェンスのツル取り作業

- 豊科** 10月6日 23人 県立こども病院
 - 穂高** 10月23日 25人 穂高会館
 - 三郷** 10月2日 38人 三郷福祉センター
 - 堀金** 10月24日 17人 堀金社会福祉協議会
 - 明科** 10月17日 26人 堀金中学校
 - 龍門淵公園
- ご参加頂きました皆さんお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

安全就業だより

安全。パトロール実施

7月31日午前中、豊科地域以外の4地域において独自パトロールを実施、引き続き長野県シルバ－人材センター連合会による安全・適正就業パトロールを実施、豊科地域の剪定作業現場の就業状況を確認しました。

県シ連適正就業対策委員から「班員は安全意識が高い」との評価をいただきました。一方、「ヘッジトリマーの取り扱い時に防塵メガネ未着用の会員がいた」等との指摘がありました。指摘事項等は、会員に周知し、安全就業の徹底をお願いしました。

伐採作業中に落下事故発生

～事故調査委員会より～

11月18日、庭木の伐採・枝払い作業現場において、伐採中の枝が三脚にあたり三脚が振られたことでそこから落下し、両足かかとを骨折し、入院二か月という事故が起きました。

この事故の原因としては、①強風の中で作業を行ったこと。②事前に枝の排除を充分行わなかったこと。③三脚をロープ等で他の立木等へ固定しておかなかったことが考えられます。

委員会では再発防止策を検討し、剪定班長を通じて、班員に周知していきます。

転倒し労災事故発生

～衛生委員会より～

10月31日、スーパーマーケットでカート回収中に、バランスを崩し後ろ向きに転倒。後頭部打撲による脳内出血と診断され、一カ月以上の入院を余儀なくされました。

衛生委員会として今回の事故を受けて、全派遣就業会員に周知、転倒災害防止リーフレットを配布しました。

事故原因として運動機能低下が考えられることから、転倒防止のための運動機能アップ体操を推奨することとしました。

またこれを受けて、シルバ－全会員に啓発チラシを配布することとしました。

県シ連主催

安全・適正就業標語

入賞の栄冠に輝く！

当シルバ－人材センターの小林徳子会員（三郷地域）の応募された標語が、応募総数612点の中から安全・適正就業標語の入賞（佳作）を果たし、去る11月17日に塩尻市文化会館レザンホールで開催された県シ連安全・適正就業推進大会の席上で表彰されました。

入賞作品

一呼吸
心のゆとりが
身を守る

小林会員にはお祝い申し上げます。



表彰される小林会員

令和五年度

「安全・適正就業標語」

入選作品の紹介

本年度、会員の皆様から17点の応募をいただき、誠にありがとうございました。

当シルバ－で、審査させていただき、最優秀賞一点と優秀賞二点を選考させていただきました。

最優秀賞

小林 和子会員（豊科地域）

体調管理と安全チェック

ひとりひとりの心がけ

優秀賞

那須野 卯久会員（三郷地域）

もう一度仕事の手順考えて
みんなでする今日の無事

小林 徳子会員（三郷地域）

お疲れ様

笑顔の先に明日が有る

作業慣れすることなく、
基本に立ち返り事故件数ゼロ
を目指して、安心安全な作業に
努めてください。

会員の声

人との出会いの大切さ



明科 松沢 幸重

四十二年間勤めて定年退職しました。一年間

ケガの治療で病

院通い、ぼつぼつ家に居るのも飽きたころ市民タイムスの記事にシルバ－人材センターの会員説明会の記事が掲載されていました。まだまだ家に居るだけではなく何か良い仕事がないかなと思っていた時でした。説明会に行き入会しました。

仕事を通じて色々な前職の方や年齢も違う方々との出会い、さまざまな情報やその人の考え方が分かり人生の参考になっていきます。家に居ては得られない事がいっぱいあります。六十八歳これからはシルバ－の仕事を通じて人との出会いを大切に、まだまだ現役で頑張つて人生を謳歌していきたいです。

雑感



豊科 藤原 健善

シルバ－人材センターの紹介で、今年の八月

から今の職場に

お世話になってます。

定年退職後は自宅から出ることも少なくなり、家族以外の人と関わる機会もめっきり減りました。元々出不精で家籠りも苦ではなかったのですが、自分の接する世界が狭くなっているのも残念に思い、動けるうちは少しでも行動範囲を広げたいと考え、人材センターへ登録しました。

職場の方々からは、業務について丁寧に親切に教えていただいています。子供が就職したときは「同じことを何度も聞かないようにしなさい」などと偉そうなことを言いましたが、物忘れが多くなった今の自分がそれを実践できているかはあまり自信がありません。他にも至らぬ点が多いかと思いますが、職場の方々のおかげで何とか続けていられています。人に恵まれたとつくづく思います。

事務局より

配分金の確定申告について

令和4年12月から令和5年11月までの1年間（1月振込～12月振込）の配分金支払証明書（派遣会員には源泉徴収票）を1月中旬までにご自宅に郵送します。

所得税法上、配分金収入は「雑所得」に、派遣就業で支払われた賃金は「給与所得」に区分されます。

申告の内容については、収入の種類別、合算等により個々に異なるため、申告の際に税務署に相談してください。

就業報告書の提出は早めに！

締め切り（翌月5営業日）までに提出されないと、配分金支払いが1ヶ月遅れます。

配分金及び派遣給与の振込日

配分金	派遣給与
1月分	2月20日(火)
2月分	3月19日(火)
3月分	4月19日(金)
4月分	5月20日(月)
5月分	6月20日(木)
6月分	7月19日(金)

お悔やみ

- 丸山 靖江様 令和5年7月
- 須澤 弘様 令和5年10月
- 丸山 宗彦様 令和5年11月

ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

スベイン風邪は、3～4年で終息したと言われています。コロナ禍も今年頃から弱体化してやっと日常生活が戻ってきた。

しかし、冠婚葬祭は超簡素化された。個人情報も行政の超徹底で、隣に新築した住民は誰が住んでいるのか、全くわからない。いろいろな団体も名簿が無い。若者はスマホで決済。また、マイナンバー制度、何処で誰が何を管理しているのかわからない。

先日も冷蔵庫の調子が悪いと、修理依頼すれば電装基盤を取り換えて終わり、なんだか全てがブラックボックスになってきた。これからの世の中、活動・管理どうなっていくのだろうか。

こんな事をぶつぶつ言うのが人生100年時代を生きる旧人・高齢者なのか。今こそ特にスマホを使いこなすことが課題だ。

でも、昨年も無事過ぎすことが出来ました。

総務・調査広報部会

- 藤澤 靖雄、松田 清志
- 小林 和子、齊藤 澄夫
- 高橋奈津子

